

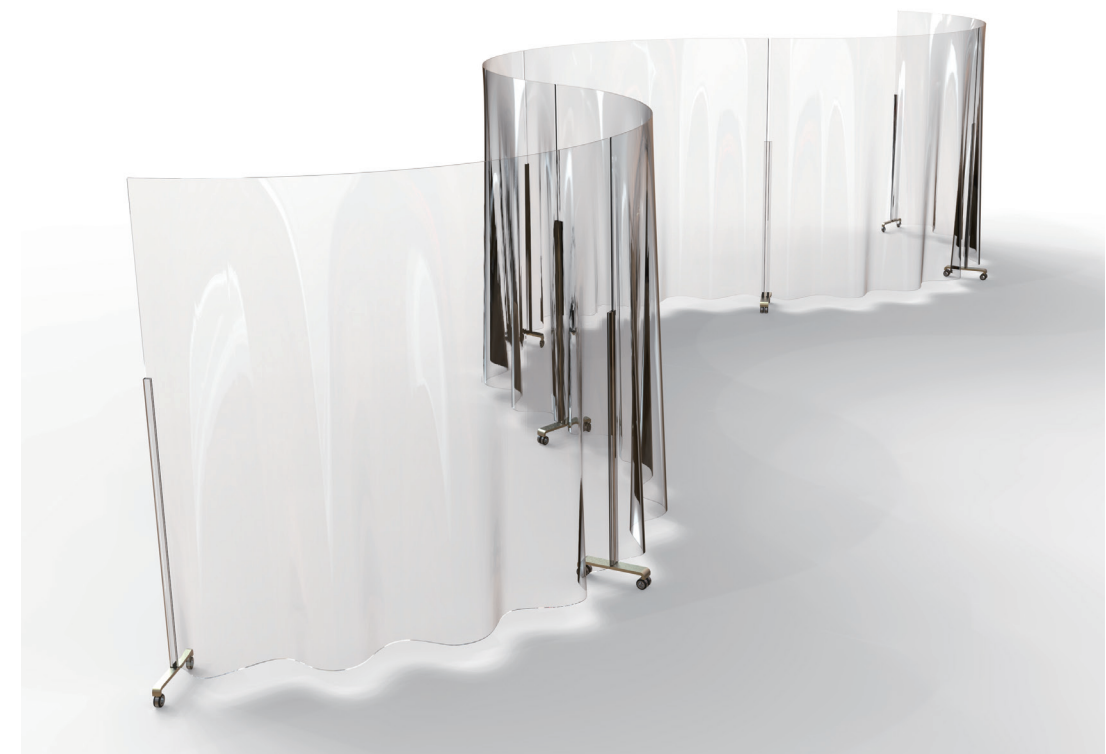
DRAPE PARTITION

新型コロナウイルスの蔓延により、私達の生活は室内空間と室外空間で遮断されてしまった。感染拡大防止のため、現在もあらゆる場所でパーティションが設置されているが、どれも平面的で空間だけでなく人と人との心の距離も空いてしまったように感じる。

この「DRAPE PARTITION」は、曲げ加工を用いることによって「静と動」を演出し、空間を和らげ、解放感を与えるような、新たなパーティションの在り方を提案。



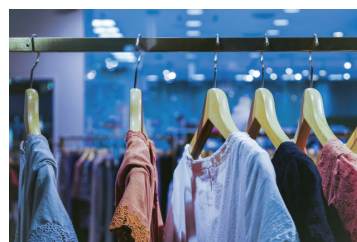
まるでカーテンのような滑らかさを表現することにより、ガラスの重量感を抑え、軽くて柔らかく、優しい印象を与えるよう設計。可動式にすることで、あらゆる場面での使用を想定しており、ガラスの両端をガラスで挟むことによって並べた時の繋がりを意識した。金属部分は、ガラスが本来持つ「高級感」を阻害しないよう、シャンパンゴールドのカラーを提案。ガラスを用いることで経年劣化の心配が無く使用することができ、また化学強化加工を施すことによって面強度が上がり、安全性を向上させることが可能となる。



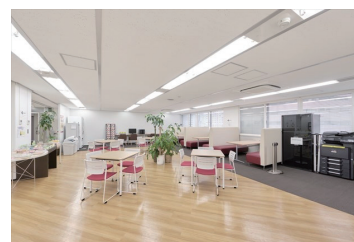
結婚式会場



美術館



洋服店



オフィス空間



カフェテリア

曲げガラスを更に曲げることによって美術館や洋服店、結婚式会場での使用ケースを想定。美術作品を紫外線から守り、室内空間に動線を生み出し、ドレスのような華やかさも表現することが可能。更に、合わせガラスにすることで和紙・布・金属を挟んだり、中間膜印刷等によってグラデーションを施すことが可能となり、使用シーンにおけるパーティションのバリエーション展開も可能になるのではないかと提案。